



NIPPPO 中部支店

東 彩花さん

働き続けることで魅力伝えたい



——建設業界を志した理由は。
「子どもの頃から、きれいで

走りやすい道を仕上げる道路舗装の仕事に興味があった。ものづくりに携わりたいと思い、大学は土木工学科を選んだ」

——会社を選んだ理由は。

「土木全般を手掛ける地元の建設会社も視野に入れていたが、やはり道路舗装会社への憧れが強かった。中でもNIPPPOは、一般的な道路だけでなくテストコースなど多種多様な仕事に携わることができそうなのが魅力的だった」

——今の業務内容は。

「1年目に初めて配属されたテストコース新設現場で、現在3年目になる。最初は構造物の高さ確認など測量を主に行った。2年目の途中から舗装を担当し、合材の注文や安全、品質、出来形の管理などを行っている」

——初現場で不安だったことは。

「大学は土木工学科を選んだが、舗装を専門的に学ぶ機会はなかった。舗装に関する知識が少ない状態で入社したが、上司や先輩が丁寧に指導してくださるため、きちんと経験を積みながら知識・技能を習得できた。先輩たちも、舗装の専門知識は入社後に身に付けるケースが多いようだった」

——うれしかったことは。

「施工が完了した時に見た、まっさらな舗装が印象的だった。不安もあったが、多くの方と協力して無事に工事を完成させることができてうれしかった」

——一般の方や学生、子どもたちに建設業の魅力を伝えるには。

「自分が定着して働き続けることがアピールになる。性別や体格に関係なく、誰にとっても働きやすい環境であることを証明したい」

「イベントも効果的と考える。子どもの頃、国道302号の開通イベント『名二環夢ウォーク』に家族で参加したことは強く覚えてる」

——将来の目標は。

「ずっと働くこと。多くの人から良い道と言っていただけ『自慢できる舗装』を目指して入社した。この目標に向け、長く道路舗装の仕事に携わり続けたい」

（ひがし・あやか、愛知工業大学工学部卒。名古屋出身。25歳）